

卒業生は今……

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は約860名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.20 0くん（平成26年3月卒・現16歳） 遠洋カツオ一本釣漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 機関当直は、42期の卒業生のKさんと一緒に当直に当たり、色々と教えて貰っている。
- * 操業では、化け(疑似餌)で魚が釣れている時は魚を釣り、生き餌を使って魚を釣る時は、餌運びとタモ持ちに変わる。

Q. 大変なことは？

- * 魚がたくさん釣れた次の日の魚おこし(シフト)が大変である。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 船内の食事でインドネシア人のコック長の作るご飯がとても美味しい。また、夜間当直での夜食が楽しみ。
- * 魚がたくさん釣れた日。
- * 一日が終わり、風呂に入っている時が楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 実習船「やいづ」での航海実習が学園での良い思い出です。

Q. 学園で学んだ(身に付けた)ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープの結び方、化け(疑似餌)の作り方が役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 上の人の言うこと聞くことが大切である。

(平成26年7月18日)